



第1弾

『地域力発見講座』



「地域力」とは、その地域がもつ自然・産物・地場産業・地理的位置・文化遺産・住民などの総合力のことをいいます。同友会釧路支部は釧路市民と共にこの「地域力」について学び合う『地域力発見講座』を開催します。市民の皆さんのご参加をお待ちしております。

第1講 歴史(9/7) 『クスリから釧路へ』

小さな鄙びた漁村にしか過ぎなかった釧路は明治時代に急速に発展する。街の中心街も米町から駅周辺へと広がっていった。その要因を歴史的に解明する。

講師:釧路公立大学 教授 高嶋 弘志氏



第2講 文学(9/14) 『釧路を描いた文学作品から』 ～ 啄木・泰淳・源蔵・康子 ～

日本文学史上に燦然と輝く石川啄木・武田泰淳・更科源蔵・原田康子。彼らにとって道東の地は如何なるものであったのか。また彼らはそれをどのように作品化していったのか。作品を通して改めて道東の風土を読み解く。

講師:釧路工業高等専門学校 教授 小田島 本有氏



第3講 財政(9/21) 『釧路を夕張にさせないために』

かつては炭鉱の街として栄えた夕張市。しかし「石炭から石油へ」のエネルギー政策転換による炭鉱の閉山、その後の「炭鉱から観光へ」の取組みにもかかわらず2007年3月6日財政再建団体に認定。なぜ夕張市が財政破綻したのか、問題の本質はどこにあるのか、財政破綻にいたる経緯を振り返り、釧路市との比較を試みる。

講師:釧路公立大学 講師 下山 朗氏



日時 9月7日・14日・21日 (18:00～19:30)

会場 まなぼっと 601号 (釧路市幣舞町4-2-1 TEL(0154)41 8181)

会費 各講義 500円

第1弾

『地域力発見講座』 受講申込書

受講を希望される方は同友会事務局 (FAX: 0154-31-0944 Tel: 31-0923) までお申し込み下さい。
『地域力発見講座』 (第1講(歴史)、第2講(文学)、第3講(財政))を受講します。

会社名

お名前